

科目名	ヴォーカル I							年度	2026
英語科目名	Vocal I							学期	前期
学科・学年	声優・演劇科 1年次	必/選	必	時間数	60	単位数	2	種別※	実技
担当教員	荒木里佳、池田ちほ	教員の実務経験		有	実務経験の職種		俳優		
<b>【科目の目的】</b> 「身体全身が楽器である」というテーマに基づき、身体の支え、中心軸、正しい姿勢、鍛える筋肉、緩める筋肉、鼻腔の開放、共鳴の位置、口の開け方、より深い腹式呼吸のための様々な呼吸法のトレーニングを積み重ねていく。それを基本にして具体的な発声練習に取り組み、様々なジャンルの曲を用いて実践する。そして、自分を解放して伸び伸びとした響きのある声を育てることを目指す。									
<b>【科目の概要】</b> 様々な種のヴォーカルに取り組み、演技者に必要な音感・リズム感・表現力を養う。									
<b>【到達目標】</b> 身体全身を使った声のためのトレーニングを積み重ねることにより、これまで、口先や喉を多用してきた声、不自然に作った声、ただがむしゃらに出してきた声、音楽にのって自己満足で歌ってきた声、自信を失くしたか細い声、等がどのように変化したかを自覚することができる。さらに、課題曲の発表を通して、作品表現としての自分の歌声を、客観的に捉えられるようになり、自己分析できるようになる。									
<b>【授業の注意点】</b> 各自が真剣に自分の能力を100%伸ばすことに集中し、その成果を上げるための環境づくりを重要視し、お互いを認め合い、高め合える場とすること。共働で課題曲を仕上げていくために遅刻をしない、無断で休まないといった基本的なことに留意すること。学生自身が今後社会で自立する事を意識した授業へ取り組む姿勢を要求する。また、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	相手の目を見て挨拶することができる	挨拶することができる	挨拶することができない						
到達目標 B	課題内容を理解し演じる（歌う）ことできる	課題を演じる（歌う）ことできる	課題を演じる（歌う）ことできない						
到達目標 C	遅刻・欠席をしない	遅刻・欠席が少ない	遅刻・欠席が多い						
到達目標 D									
到達目標 E									
<b>【教科書】</b> パソコン・タブレット・スマートフォンなどのモバイルツール、参考資料等は授業内で指示する。必要に応じて楽譜・資料を配布する。									
<b>【参考資料】</b>									
<b>【成績の評価方法・評価基準】</b> 小テストおよび期末テストにより採点。授業への積極性と参加態度を評価する。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		ヴォーカル I			年度	2026
英語表記		Vocal I			学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	究極のボイトレ (1)	身体の支え	1 声帯	声の出る仕組みを知る	2	
			2 声質	息の量をコントロールする		
			3 発声	ピアノに合わせて発声する		
2	究極のボイトレ (2)	中心軸	1 楽器が身体	身体のボリュームを理解する		
			2 声	音量を知る		
			3 発声	ピアノに合わせて発声する		
3	究極のボイトレ (3)	深い呼吸法	1 呼吸	リズムに合わせて呼吸する		
			2 横隔膜	ブレス確認をする		
			3 発声	ピアノに合わせて発声する		
4	究極のボイトレ (4)	響く声	1 開口	喉の奥を開くため開口する		
			2 倍音	気音を基とし音を安定させる		
			3 リラックス	身体の全身を脱力する		
5	究極のボイトレ (5)	正しい声の位置	1 音程	一音一音を安定させる		
			2 リズム	リズムを刻む		
			3 リラックス	身体の全身を脱力する		
6	究極のボイトレ (6)	音の高低差	1 コンコーネ	高音低音を理解する		
			2 コールキューブング	合唱の理論を理解する		
			3 ソルフエージュ	楽譜を理解する		
7	究極のボイトレ (7)	復習①	1 コンコーネ	高音低音を理解する		
			2 コールキューブング	合唱の理論を理解する		
			3 ソルフエージュ	楽譜を理解する		
8	究極のボイトレ (8)	共鳴変化	1 裏声	楽器に見立てて声を出す		
			2 上の声①	喉を締め付けないこと		
			3 上の声②	上下する音の練習		
9	究極のボイトレ (9)	共鳴腔開放	1 裏声①	ウ母音で練習する		
			2 裏声②	オ母音で練習する		
			3 裏声③	ア母音で練習する		
10	究極のボイトレ (10)	上・下の声	1 総合練習	大声を出さず息を流す		
				ハミングする		
				立体的なイメージを持つ		
11	究極のボイトレ (11)	楽器をたてに	1 立体的な声づくり	管楽器になったイメージで声を出す		
				入ってくる息を止めて、声にする		
				口から息を出し、声にする		
12	究極のボイトレ (12)	復習②	1 5つの母音	ウオアエイの練習		
				鼻腔を開放する		
				声の響きを感じる		
13	究極のボイトレ (13)	アンサンブル	1 メロディ	アメージンググレースを歌う		
				ジュピターを歌う		
				愛する人がいるを歌う		
14	究極のボイトレ (14)	笑顔	1 心を込めて	アメージンググレースを歌う		
				ジュピターを歌う		
				愛する人がいるを歌う		
15	究極のボイトレ (15)	まとめ	1 発表	アメージンググレースを歌う		
				ジュピターを歌う		
				愛する人がいるを歌う		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等